

有明海漁業実態調査

ウミタケ資源量調査

重久 剛佑・神崎 博幸

ウミタケは、佐賀県において重要な水産資源であることから、資源量を把握するため、生息状況調査を行ったので概要を報告する。なお、一部の調査については有明海漁業実態調査で実施した。

り生息個数を計数し、その結果を基に1平方メートル当たりの生息個数を推定した。なお、潜水士による1分間の探索面積は5m²とした。

結 果

方 法

調査は、2024年3月4日および7日に、早津江川河口沖合に造成した漁場（20×60m、浚渫工区および盛土工区）およびその周辺（佐賀市が実施した作濤地点および盛土地点含む）、白石町沖合で過去に浚渫土を盛土して造成された漁場など計15地点でそれぞれ実施した（図1）。

それぞれの地点では、潜水士が5分間潜水し、目視によ

ウミタケの生息は、15地点中6地点で確認された（表1）。その中でも、早津江川河口沖合の漁場造成（浚渫および盛土）を実施した地点（地点A、B）や佐賀市作濤地点（地点H、J、K）で0.1個/m²以上の生息を確認した。発見個体は当歳貝のみであり、1歳貝の生息は確認されなかった。その後、2024年6月に漁法、期間および隻数を限定して、試験操業が行われた。

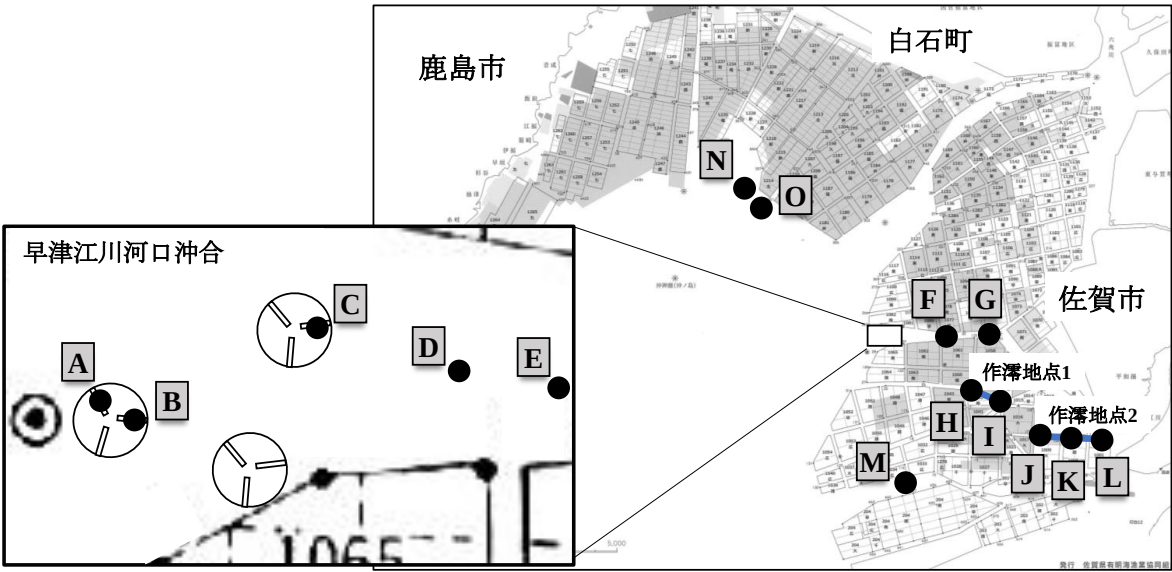


図1 調査地点

表1 各調査地点の発見個数および生息密度

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
発見個数（個）	13	25	0	0	0	0	0	5	0	2	3	0	1	0	0
生息密度（個/m ² ）	0.5	1	0	0	0	0	0	0.2	0	0.1	0.1	0	0.0	0	0
備考	盛土	盛土	浚渫					作濤	作濤	作濤	作濤	作濤		盛土	盛土